

INTERNAL ATA(E-IDE) MIRRORING DISK UNIT

SDA-MRHKシリーズ

ミラーリングディスク

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	4
ごあいさつ	5
ご注意	5
第 1 章 製品のご紹介	6
1 . 1 製品の概要	6
1 . 2 各部の名称	8
第 2 章 接続について	12
2 . 1 接続の前に	12
2 . 1 . 1 ジャンパースイッチの設定	12
2 . 1 . 2 設置・運搬時のご注意	14
2 . 2 接続の手順	15
2 . 3 接続後の作業	18
第 3 章 障害からの復旧	20
3 . 1 障害発生時の警告について	20
3 . 2 ハードディスクドライブの交換手順	21
第 4 章 補足事項	24
4 . 1 トラブルシューティング	24
4 . 2 契約保守サービスのご案内	26
修理依頼書	31

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

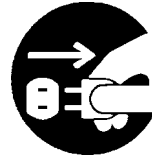


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



感電注意



高温注意



ケガに注意

分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解しないでください。故障、感電、火災の原因となります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。



分解禁止

内部に異物を入れないでください。

本製品内部に水などの液体や金属片を入れると、故障、感電、火災の原因となります。



その他の
禁止事項

衝撃を与えないでください。

本製品は精密電子機器です。強い衝撃を与えると破損する恐れがあります。



その他の
禁止事項

注意

ハードディスクドライブを取り出す場合には・・・

必ず下図のようにドライブの下に手を添えて、ドライブに衝撃が加わらないように静かに取り出してください。



その他の
注意事項

本製品に保存したデータは必ず定期的に別の媒体（CD-RやMO等）へバックアップを行ってください。

ミラーリングが行われていても、誤操作やソフトウェア的な障害などでデータが失われる危険性は常に存在します。



その他の
注意事項

ハードディスクドライブは必ず指定されたものをご使用ください。

異なるタイプのドライブを混在させた場合の動作は保証されません。スペアドライブの型番は別紙の「ハードウェア仕様」を参照してください。



その他の
注意事項

本製品を持ち運ぶ場合は...

本製品を持ち運ぶ場合は、付属の梱包材を使用して衝撃のかからないようにしてください。パソコンに取り付けた状態での持ち運びは、輸送時の振動等で、本製品およびコンピュータ本体に致命的なダメージを尾耐える危険性がございます。



その他の
注意事項



パソコン及び周辺機器の廃棄・譲渡時のハードディスク上の データ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。

消去に関しては、データが完全に消去されるよう、市販の専用ソフトウェアもしくは、専門サービス会社などを利用することをお勧めします。

また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

付属品の確認

ミラーリングディスクユニット	1 台
交換用予備ディスク	1 台
内部電源ケーブル	1 本
取り付け用ネジ	4 本
セーフティキー	2 個
「Logitec Ware」CD-ROM	1 枚
保証書	1 枚
ミラーリングディスク・ユーザーズマニュアル	本書

上記は単体販売の場合の付属品です。弊社製パソコンとのバンドル製品の場合は、補足説明表などをご参照ください。

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、
項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft社の米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh®、Mac OS®はアップルコンピュータ社の登録商標です。Pentium®は米国Intel社の登録商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

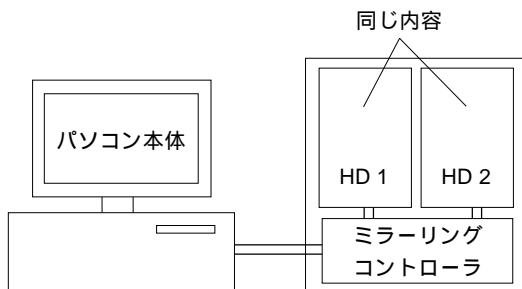
第1章 製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品はATA(E-IDE)規格に準拠した内蔵型ミラーリングディスクシステムです。

ミラーリングとは？

2台以上のハードディスクドライブに、同じ内容を同時に書きこむ技術のことです。1台のドライブにハードウェア上の不具合が発生した場合でも、他のドライブに同じ内容が保存されているため、データが失われないという利点があります。



ミラーリングディスクシステム

本製品の特徴

2台の大容量ハードディスクを内蔵して、ミラーリングを行うことができます。ミラーリングの処理は内蔵のコントローラがすべて自動で行いますので、パソコン本体からは1台のハードディスクとして認識され、複雑な設定などはまったく不要です。

ホットスワップ(パソコン本体の電源がONのままハードディスクドライブを交換すること)に対応しています。不具合が発生してもシステムを停止することなくドライブを交換することができます。

不具合発生時に交換したハードディスクドライブに対しては、全自動でデータが再構築され、ミラーリング状態に戻ります。(オートリビルド機能)

Ultra ATA/100 に対応しているため、100MB/s (理論値) の高速なデータ転送が可能です。

ハードディスクドライブ、およびコントローラには不用意な抜き取りを防止するため、セーフティロックが取り付けられています。

内蔵型(連続した空 5 インチベイ 2 つが必要)ですので設置に場所をとりません。

万一のドライブ故障時の交換用予備ディスクを 1 台標準添付しています。



ご注意

- ・ 本製品を接続するためには、5 インチベイに連続した 2 段分の空きが必要です。
 - ・ たとえミラーリングを行っていても、誤操作やソフトウェア的な障害によるデータの消失を防止できるものではありません。データの定期的なバックアップが重要であることには変わりはありません。
 - ・ たとえミラーリングを行っていても、2 台のハードディスクドライブに不具合が発生するとデータは失われます。1 台のドライブに不具合が発生したら、なるべく速やかに不具合の発生したドライブを交換してください。(スベアドライブが、別途必要な場合は、別紙の「ハードウェア仕様」をご参照ください。)
-

1.2 各部の名称

本製品前面

コントローラ

この部分にはコントローラ基板が格納されています。

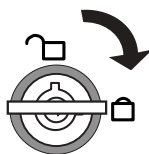
ハードディスクドライブ 1 / 2

ミラーリングを行うハードディスクドライブが、1台ずつ格納されています。

セーフティロック

ハードディスクドライブを取り出せないようにロックする機能とドライブのON/OFFスイッチの役割を持ちます。

ドライブの故障以外は、絶対にロックは解除しないでください。ロック/解除は付属のセーフティキーを使用して、下図の様にそれぞれの位置まで回転させてください。



ロックの位置



解除の位置

ディスク動作表示ランプ

各ディスクドライブの状態を3つのLEDで表示します。

緑...点灯時は、ディスクが正しくインストールされ、ロックされている。

黄...ディスクにアクセス中に点灯

赤...点灯時はディスクが存在しないか、正しくインストールされていないか、ロックされていないか、故障している。

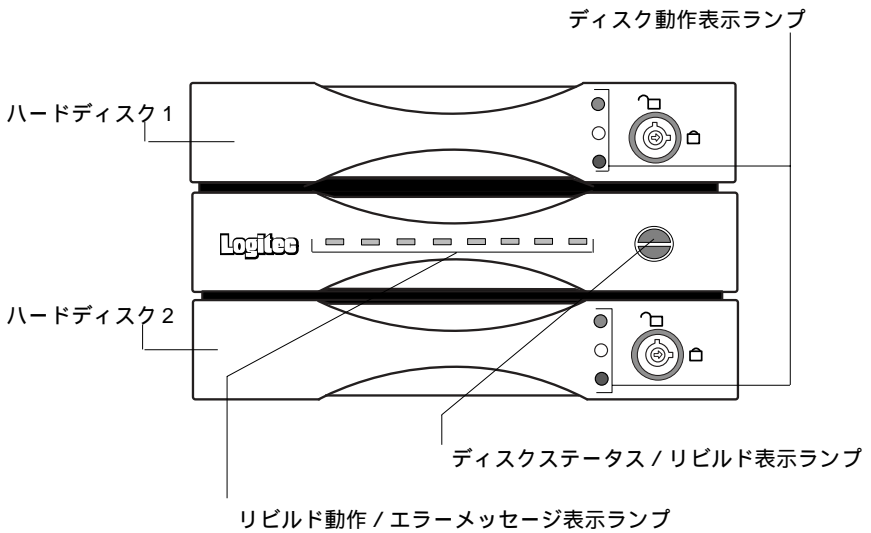
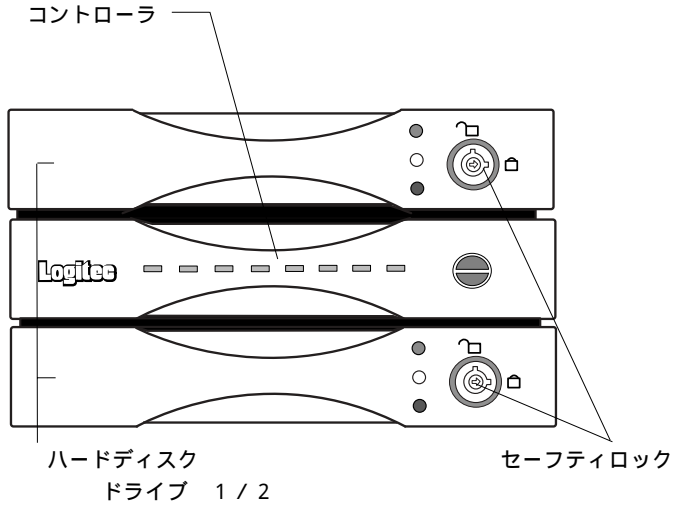
点滅時は該当ドライブがリビルド中です。



参考

本製品が起動する際にも赤色ランプが点灯することがありますが、これは異常ではありません。

本製品内でディスクを検索しているためであり、ディスクが見つかり次第、赤色ランプは消灯します。



ディスクステータス/リビルド表示ランプ

上段表示ランプは上段のドライブを、下段表示ランプは下段のドライブを示します

ドライブが故障した場合、該当する表示ランプが点灯し、警報音が鳴ります。故障したドライブのロックを解除すると警報音は鳴り止みます。

ディスクの再構築中には該当する表示ランプが点滅します。

リビルド動作/エラーメッセージ表示ランプ

通常動作では、横にスキャンを繰り返します。

リビルド動作

オンライン・リビルド機能を使用する際に、ディスクの再構築状況を示します。

最初に8つのランプが全て点灯し、左から順に点滅をはじめます。データの12.5%がミラー化されるごとにランプが一つずつ消えてゆき、ミラーリング作業が完了すると全てのランプが消灯します。

エラーメッセージ

何かの理由によりディスクにエラーが起こった際、表示ランプが以下の様に点灯し、予想されるエラーを知らせます。

ディスク不良



対象ディスクサイズがソースディスクより小さい



対象ディスクの Ultra DMA モードがソースディスクより小さい。
(*1)



対象ディスクに不良セクタがある。



電源投入時、ハードディスクドライブ1故障



電源投入時、ハードディスクドライブ2故障



*1 この場合は対象ディスクのロックを解除せずに本製品の電源を落とし、再度、電源を投入してください。本製品が自動的に対象ディスクを再構築します。

本製品背面

ジャンパースイッチ

本製品の動作モードを設定します。詳細については第 2 章「2.1 接続の前に」をご参照ください。

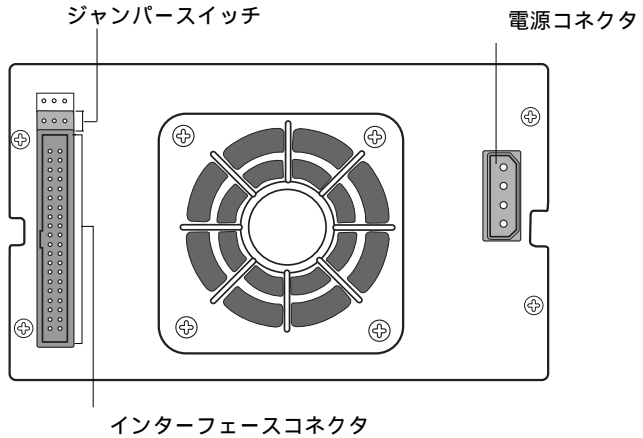
電源コネクタ

パソコン本体の内部電源ケーブルを接続します。

インターフェースコネクタ

フラットケーブルで、パソコン本体の ATA (E-IDE) コネクタと接続します。

1



第2章 接続について

2.1 接続の前に

2.1.1 ジャンパースイッチの設定

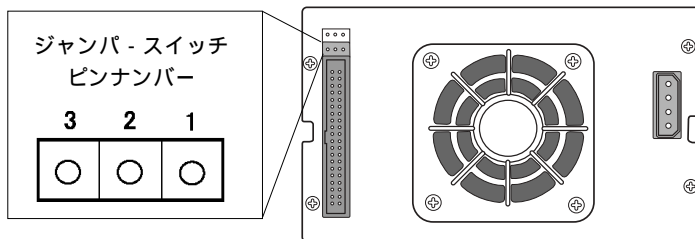
本製品を接続する前に、背面のジャンパースイッチで本製品の動作モード（マスタ/スレーブ）を設定してください。

本製品のような ATA (E-IDE) 対応機器は、1つの ATA (E-IDE) コネクタに2台まで接続できますが、その場合、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければなりません。ATA (E-IDE) コネクタが2つ（プライマリ/セカンダリ）ある場合はマスタ/スレーブの組み合わせを2組、合計4台までの機器を接続できます。

また、ケーブルセレクトに対応したパソコン本体と専用ケーブルを使用している場合、ケーブルセレクト方式でマスタ/スレーブを設定することも可能です。

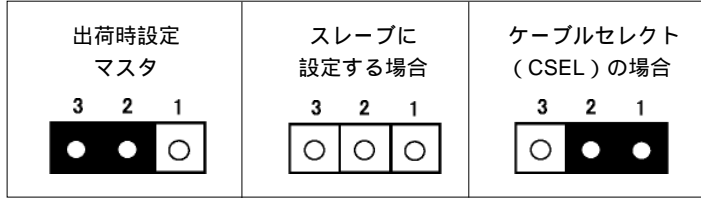
フラットケーブルに本製品だけを接続する場合は、「マスタ」に設定してください。

フラットケーブルに本製品を含む2台の機器を接続する場合は、片方を「マスタ」に、もう片方を「スレーブ」に設定してください。一般的には高速な機器を「マスタ」に、低速な機器を「スレーブ」に設定します。





= ジャンパープラグをセットする位置

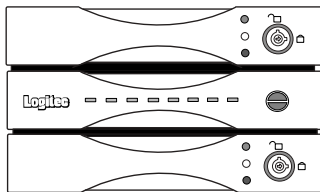


ご注意

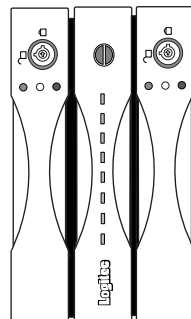
- ・Ultra ATA/66 対応のフラットケーブルは、マスタ接続用のコネクタ、スレーブ接続用のコネクタが固定されています。
本製品を「マスタ」に設定した場合は、フラットケーブルの「Master」と書かれたコネクタ(色分けしてある場合は黒色のコネクタ)に接続してください。
- ・本製品を「スレーブ」に設定した場合は、フラットケーブルの「Slave」と書かれたコネクタ(色分けしてある場合は灰色のコネクタ)に接続してください。

設置方向について

本製品を5インチベイに内蔵する際には、本製品が以下のような方向になるようにしてください。逆にすると故障の原因となります。



水平方向の場合



垂直方向の場合

2 . 1 . 2 設置・運搬時のご注意

設置時のご注意

本製品は、ハードディスクが複数台入っているため、重量があります。その為、コンピュータに取り付ける際には、コンピュータの内部の5インチベイにネジを使用してしっかりと固定してください。

一部のコンピュータでは、レールキットなどで5インチベイに取り付ける仕様の物もございますが、レールキットによっては、本製品をしっかりと固定する事ができず、振動等の影響で本製品に何らかのトラブルが発生する可能性がございます。

やむをえず、レールキットのみで本製品をコンピュータ本体に取り付ける場合は、お使いのコンピュータに用意されている専用レールキットをご使用ください。(ネジなどでレールキットを筐体に固定できる場合には、必ず固定してください。また、レールキットのみで設置を行う場合は、ベイ2つ分のレールキットを使用してください。)

運搬時のご注意

本製品をレールキットのみでコンピュータ本体に取り付けた状態でコンピュータ本体を運搬すると、輸送時の振動等で本製品およびコンピュータ本体に致命的なダメージを与える危険性がございます。

従いまして、運搬を行う場合にはいったん本装置をコンピュータ本体から取り外し、コンピュータ本体とは別梱包(本製品に付属していた緩衝材をお使いください)にて運搬を行うようにしてください。

2.2 接続の手順

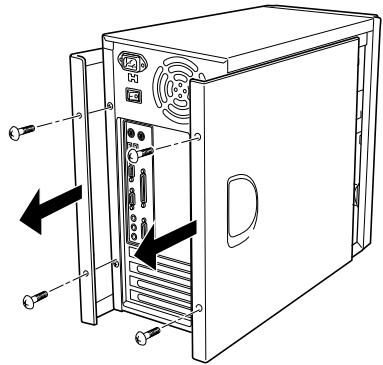
接続は以下の手順で行いますが、詳細についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。また、パソコン本体によって取り付けに特殊な金具が必要な機種もありますので、あらかじめ、パソコン本体の取扱説明書で確認してください。



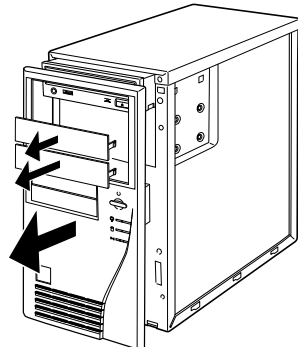
重要なお注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

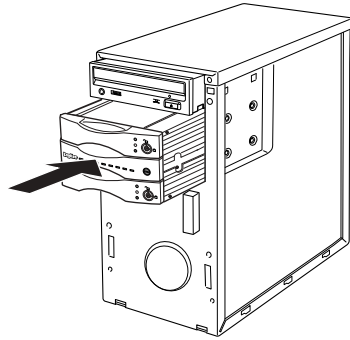
パソコン本体のカバーを取り外します。(右のイラストは一例です。取り外し方法についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。)



フロントパネルを外し、そこに取り付けられた5インチベイのカバー(2段分)を取り外してください。



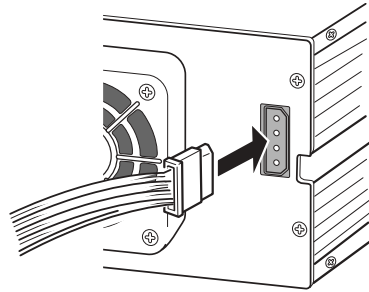
本製品を5インチベイに挿入します。完全に挿入してしまうと、次の作業(~)がやりにくくなりますので、半分くらい挿入した状態で次の作業を行ってください。(まだ、この段階ではネジ止めしません。)



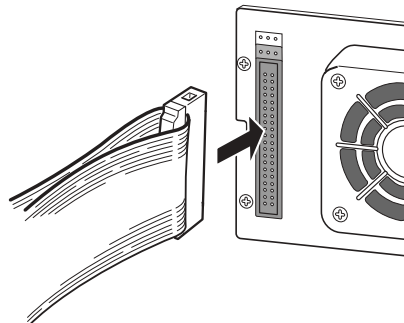
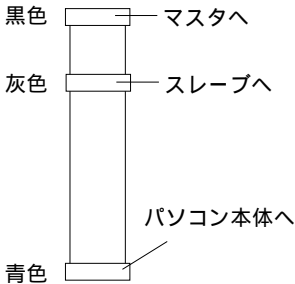
レールキットを使用する場合はご使用のコンピュータ専用のものをお使いください。

パソコン本体の内部電を本製品の電源コネクタをこのコネクタはでしか接続できない形です。

内部電源ケーブルが短は、先に本製品付属ケーブルを接続して



パソコン本体内部のATA(E-IDE)コネクタと、本製品のインターフェースコネクタを、フラットケーブルで接続します。フラットケーブルはパソコン本体にあらかじめ取り付けられたものか、弊社より発売されております別売ケーブル「CB-F40/66」をご使用ください。



Ultra ATA/66 対応ケーブルの使い方

Point

ポイント

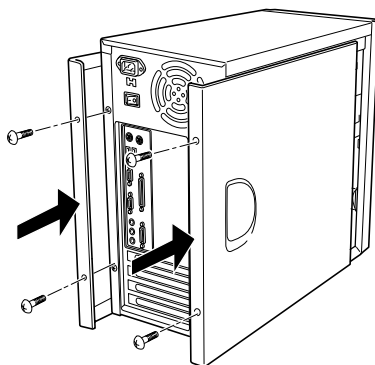
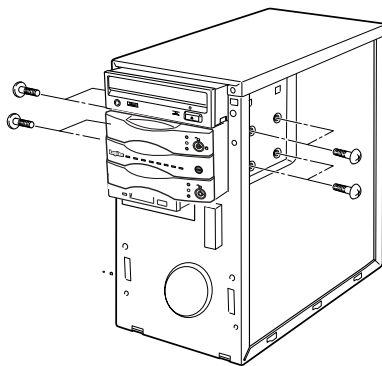
Ultra ATA /66対応のフラットケーブルを使用する場合は、動作モードの設定によって接続に使用するコネクタ（マスタ接続用コネクタ、スレーブ接続用コネクタ）が異なりますのでご注意ください。

本製品を完全に挿入して、付属のネジでしっかりと固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横から止めます。

レールキットを使用して本製品を固定する場合は、「2.1.2 設置・運搬時のご注意」の内容をご確認ください。

ケーブルなどを挟み込まないように注意して、パソコン本体のフロントパネルとカバーを取り付け、ネジで固定します。

以上で接続は終了です。



2 . 3 接続後の作業

本製品の接続が終了したら、本製品およびパソコンの電源を ON にして、システムを起動してください。(起動の際、本製品が認識されない場合は、次ページの「本製品設置後のパソコン起動時のご注意」をご確認ください。)

システム起動が完了したら、ご使用の OS 上から本製品のフォーマットを行います。フォーマットソフトウェアは OS 標準のものを使用します。手順については OS のマニュアルをご参照ください。

本製品のフォーマットが終了したら、本製品は OS 上から 1 台のハードディスクと同じように使用することができます。



参考

本製品を起動ディスク以外の用途でご使用される場合、付属の「Logitech Ware」からフォーマットをすることも可能です。その場合の手順は以下の通りです。

「LogitechWare」CD-ROM をセットし「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。

インストール終了後、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」 「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマット」を起動させてください。

ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」 「ハードディスクのフォーマット」をご参照ください。

本製品設置後のパソコン起動時のご注意

現象

本製品を内蔵するパソコン側の設定によっては、ごくまれに電源投入時にパソコン側から認識されないことがあります。

原因

この現象は、パソコン側が高速起動設定などに設定されている場合におこります。通常、パソコンが起動するときは、パソコンにつながれている各装置が起動可能状態(レディー)になった後に、パソコン側からの認識作業が行われ、装置が認識されるのですが、高速起動設定など一部の設定によっては、装置が起動準備中にコンピュータからのこの認識作業が終了してしまう場合があります。

2

対処方法

起動時に認識されない場合には、一度パソコンの設定をご確認ください。パソコン側の設定を変更(高速起動を無効など)する事で、回避することができます。

設定方法

- ・電源投入時のメモリテストをクリックテストから通常テストに設定します。
- ・デバイス(装置)認識を開始する時間をデフォルトより高い値に設定します。

設定方法等につきましては、コンピュータにより手順が異なりますので、お使いのパソコンメーカー様にお問い合わせください。

上の設定を変更しない場合も、パソコン起動後に、コンピュータのリセットボタンを押すなどでコンピュータを再起動することにより本製品は認識されます。

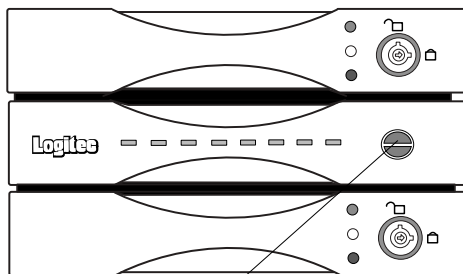
第3章 障害からの復旧

3.1 障害発生時の警告について

本製品内蔵のハードディスクドライブに障害が発生すると、以下のような警告が行われます。

内蔵のブザーから警告音が鳴ります。

障害の発生したハードディスクドライブ側のディスクステータス/リビルド表示ランプが、点灯します。



ディスクステータス/リビルド表示ランプ
障害の発生したハードディスクドライブのランプだけが赤色に変化します。

Point

ポイント

警告音は該当するドライブのロックを解除することにより止めることが出来ます。

3.2 ハードディスクドライブの交換手順

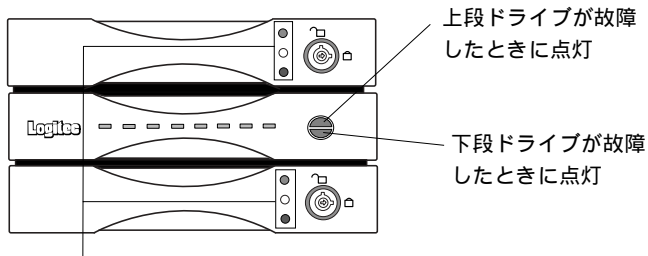
本製品内蔵のハードディスクドライブに障害が発生したら、以下の手順で本製品付属の新しいスペアドライブに交換してください。



ご注意

作業は必ず、パソコン本体の電源がONになっている状態で、行ってください。（システムを停止する必要はありません。）

障害の発生したハードディスクドライブを特定するために、「ディスクステータス/リビルド表示ランプ」の点灯方向を確認し、該当するディスクの「ディスク動作表示ランプ」が赤色に点灯している事を確認してください。



緑色に点灯しているときは...

このハードディスクドライブは正常に動作しています。

赤色に点灯しているときは...

このハードディスクドライブに障害が発生しています。

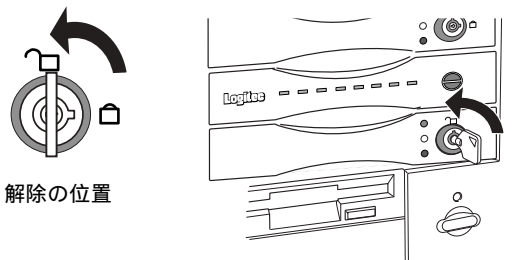


ご注意

- ・正常に動作しているハードディスクドライブを取り外すと、データは失われます。最初に必ず、どのハードディスクに障害が発生しているかを確認してください。
- ・スペアドライブに交換する際、交換しない方の正常なドライブを必ずロックしておいてください。本製品では、先にロックされたドライブがソースドライブとなりもう一方のドライブがバックアップドライブとなります。
- ・データの再構築中にソースドライブのロックを解除しないでください。故障の原因となります。

3.2 ハードディスクドライブの交換手順

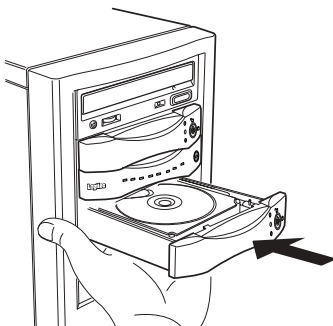
付属のセーフティキーをセーフティロックに挿し込んで、解除の位置まで回してください。



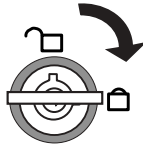
ドライブを静かに引き出します。片手を下に添えて、ドライブに衝撃が加わらないようにご注意ください。



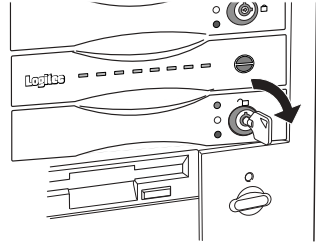
新しいスペアドライブをセットします。力を込めて奥まで挿入し、軽く引いて抜けないことを確認してください。ドライブに衝撃が加わらないようにご注意ください。



付属のセーフティキーをセーフティロックに挿し込んで、ロックの位置まで回してください。

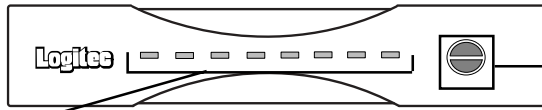


ロックの位置

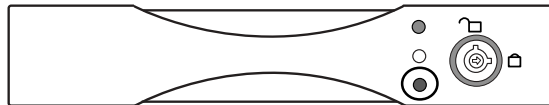


オートリビルド機能によってデータの再構築が自動的に開始されます。再構築中であることは、中段の2ヶ所の表示ランプと該当ディスクの動作表示ランプ（赤）で確認することができます。

該当ディスク側の「ディスクステータス/リビルド表示ランプ」が点滅



「リビルド動作/エラーメッセージ表示ランプ」が点灯し、左から順に点滅し消灯して行く



また、該当ディスクの動作表示ランプ（赤）が点滅します。



重要なご注意

再構築中は、絶対にパソコン本体の電源をOFFにしないでください。また、システムの終了や再起動を行わないでください。

中段の表示ランプが全て消灯したら、再構築は終了です。これで本製品はミラーリング状態に戻りました。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品を接続していると

パソコン本体の電源がONにならない。

- ・パソコン本体の電源ユニットがシステム全体の消費電力をまかないきれていない可能性があります。高速なハードディスクやCD-R/RWドライブなどを内蔵して併用している場合は、これを外して試してみてください。

本製品がハードディスクとして認識されない。

- ・フラットケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・内部電源ケーブルの接続に問題がないかどうか確認してください。
- ・パソコン本体のBIOSセットアップで、ATA(E-IDE)のハードディスクが自動検出される設定(AUTO)になっているかどうかを確認してください。
- ・本製品をセカンダリATA(E-IDE)コネクタに接続している場合、パソコン本体のBIOSセットアップで、セカンダリATA(E-IDE)が有効になっているかどうかを確認してください。
- ・ディップスイッチによる動作モードの設定と、フラットケーブル上のコネクタは一致していますか？ マスタに設定したら、マスタ接続用のコネクタに接続しなければなりません。スレーブに設定したら、スレーブ接続用のコネクタに接続しなければなりません。
- ・本製品のフォーマットは終了していますか？ Windows系のOSでは、ハードディスクが「マイコンピュータ」に登録されるのは、フォーマットが終了してからです。

ハードディスクドライブを交換したが、

データの再構築が開始されない。

- ・スペアドライブは奥までしっかりと挿入されていますか？
- ・セーフティロックはロックの位置になっていますか？
- ・本製品に付属された専用のスペアディスクを使っていますか？

電源をONにする際に片方のハードディスクだけをロックし、その後、電源が入っていないときにもう片方のハードディスクをロックしたら、後にロックしたハードディスクが普通に使用できなくなった。

本製品の両方のハードディスクをロックしてから電源をONにし、警報音が鳴るのを待ちます。そこでいったん電源を落とし、ソースディスクのみロックしてからサイド電源を入れてください。その上でバックアップディスクをロックすると、最初からデータを再構築し始めます。

データの再構築中に電源を切ってしまう、ソースディスクのセーフティキーを外したら、電源再投入後両方のディスクが無効となり警報音がする。

本製品は起動中常に仕事のステータスを記憶しています。例えばデータを再構築中であったか、あるいはハードディスクが1台だけであったかといった状況も覚えています。

本製品が以前と異なる状況を発見した場合は、異常な状況にあるハードディスクを拒絶します。

このような誤操作をした場合は、本製品の両方のハードディスクのロックを解除してから電源をONにして、警報音が鳴るのを待ちます。そこで電源を落とし、ソースディスクのみロックしてから、再度電源をONにします。システム起動後、バックアップディスクをロックします。この操作により、本製品はそれぞれのディスクを新しいソースディスク、バックアップディスクと認識し、ミラーリングを開始します。

本製品付属のセーフティキーを紛失してしまった。

- ・弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。このサービスに関しては保証期間内であっても有償になります。

その他：弊社 Web サイトについて

- ・弊社ではインターネット上に Web サイトを開設しています。Web サイトには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

Web サイトアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

4.2 契約保守サービスのご案内

弊社では通常の修理やテクニカルサポートの他に下記内容で契約保守サービスを行なっています。ただし、これらの契約保守サービスには別途料金が必要になります。

基本保守サービス

この契約により、1年間のオンサイト保守（弊社規定に基く平日昼間のみ）が受けられます。詳細な条件や料金については、下記お問い合わせ先にお問い合わせください。

24時間保守サービス

この契約により、1年間のオンサイト保守（24時間）が受けられます。詳細な条件や料金については、次のお問い合わせ先にお問い合わせください。

お問い合わせ / お申し込み

お問い合わせ / お申し込みは、弊社修理サポートセンターへご連絡ください。

ロジテック株式会社 修理サポートセンター
〒369-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8
TEL: 0 2 6 5 - 7 4 - 1 4 2 3
FAX: 0 2 6 5 - 7 4 - 1 4 0 3

上記電話番号では技術的なお問い合わせへの対応は行なっていません。テクニカルサポートについては裏表紙をご参照ください。

Memo

Memo

Memo

修理依頼書

故障が発生した場合は、下記項目にご記入いただき、製品に添付して修理をご依頼ください。

【製品をお送りいただく際のご注意】

- ・ 検査のために内部データは全て削除されますので、製品内部に保存されているデータは予めバックアップを行った上で弊社へご発送くださいますようお願い申し上げます。
- ・ 本製品は電子精密機器ですので梱包の際に緩衝材を使用するなどの処置を行わないと運送時の衝撃により故障する可能性があります。発送の際は、なるべくご購入時に本製品が梱包されていた外箱および緩衝材等を使用して本製品を梱包しお送りください。
- ・ 修理依頼品を発送する際は、正確な状況把握のために付属品を全て添付してください。
- ・ 弊社ではデータの復旧は行っていません。また、修理期間中の代替機はございません。
- ・ 発送時の送料は、お客様ご負担にてお願いいたします。

お名前：	
ご住所：〒 -	
電話番号： ()	FAX 番号： ()
製品名：	製造番号：
保証書添付： 有 無	
添付品	

ご依頼内容

(できるだけ詳しくご記入ください：書ききれない場合は別紙へ続けてご記入願います。)

--	--

ご使用環境

ご使用パソコン	:
本製品以外の接続機器	:
OS	:

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。(修理に代わって同等品と交換させていただく事があります)

オンラインユーザー登録について

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。

L-site <http://www.logitec.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受付窓口）

TEL：0265-74-1423 FAX：0265-74-1403

受付時間：9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。

Logitech ミラーリングディスク・ユーザーズマニュアル

2005年 12月改訂 SDA-MRHK V03

製造元：ロジテック株式会社



<http://www.logitech.co.jp/>